

黄色ブドウ球菌検出用 DD チェッカー TGSE 寒天培地

* 【全般的な注意】

1. 本品は、微生物の取り扱いに習熟した人の指導のもとにバイオハザード対策を実施した上で使用して下さい。
2. 使用説明書以外の使用目的、使用方法については保証を致しません。
3. 培地が目や口に入った場合には、水で十分に洗い流し、必要があれば医師の手当等を受けて下さい。

【形状・構造等（キットの構成）】

TGSE 寒天培地

黄色ブドウ球菌を特異的に検出する TGSE 培地です。
(他の培地と区別するため、シャーレに "TGSE" と印字してあります。)

【使用目的】

環境及び食品由来の黄色ブドウ球菌の検出

【特徴】

黄色ブドウ球菌食中毒は、本菌が食物内で増加する過程に產生した菌体外毒素（エンテロトキシン）をヒトが食物と一緒に摂取することによって起こる代表的な食中毒です。我が国でも、毎年多数の食中毒患者の発生が見られ、食品及び食品の製造・調理環境（ヒト、器具、器材）中のブドウ球菌検査を行って汚染防止策を立てることは重要です。

本品は、食塩、亜テルル酸カリウム、塩化リチウム、グリシンによって黄色ブドウ球菌以外の菌の発育を抑制し、検出目的とする黄色ブドウ球菌は亜テルル酸カリウムを還元して黒色の集落を形成、周囲に卵黄反応の白濁を呈します。

1. スタンプ方式のため、操作が簡単です。
2. 7% 塩化ナトリウム、グリシン、亜テルル酸カリウムにより黄色ブドウ球菌を選択的に発育させます。
3. 亜テルル酸還元によるコロニーの黒変、卵黄反応を観察することにより、黄色ブドウ球菌の推定を行うことができます。

【操作上の注意】

1. 菌種により発育速度が異なりますので、培養中は毎日観察して下さい。
2. 菌によっては発育の遅い場合がありますので、疑わしい検体は記載されている培養時間よりも長く培養して下さい。

【用法・用量（操作方法）】

1. 必要な器具・器材・試薬等

DD チェッカー TGSE 寒天培地

恒温器又は恒温室：37℃に設定可能なものを使用して下さい。

スタンプできない検体（液体の検査材料及び表面が平滑でない検査材料等）の場合は次のものも用意して下さい。

・検体が液体の場合：滅菌綿棒（又はマイクロピペット及びマイクロピペット用滅菌チップ 20~50 μL）

・検体表面が平滑でない場合：滅菌綿棒、滅菌生理食塩液

2. 操作法

(1) シャーレを必要な枚数だけ袋から取り出し、上下に折り曲げて個々に切り離します。

(2) シャーレのフタを取り、直ちに培地面を検査材料の表面に密着させて軽く押します。

* 検査材料が液体の場合は、20~50 μL 程度を滅菌綿棒等で培地全面に均一になるように塗抹します。

* 検査材料の表面が平滑でない場合は、滅菌生理食塩液を含ませた滅菌綿棒で検査材料の表面を拭き取った後、培地全面に塗抹して下さい。

* 培地で検査箇所を擦ると寒天表面に傷がついたり剥離したりする可能性がありますので、試験時には検査箇所を擦らずに軽く押すようにして試験を行って下さい。

* 生育コロニー数が多すぎる場合には検査材料を拭き取ったのちに滅菌生理食塩液などで希釈し、20~50 μL を塗抹すると良好な結果が得られることがあります。

(3) シャーレのフタをして、フタ表面に検査材料名等の必要事項を記入します。

(4) 37℃の恒温器又は恒温室に、シャーレのフタを下にして入れ、24~48 時間培養します。

(5) 培養後、発育した集落を観察します。

【結果の判定法】

1. 判定

24~48 時間培養後、集落が黒色を呈し、集落周辺に卵黄反応（白濁や真珠用光沢）が観察されるものを黄色ブドウ球菌と推定します。

2. 判定上の注意

(1) まれに卵黄反応を呈しない黄色ブドウ球菌が存在します。発育菌は生化学性状試験あるいはコアグラーーゼ試験等によって黄色ブドウ球菌の同定を行って下さい。

(2) 黄色ブドウ球菌以外の菌で黒色の集落を形成する菌が発育することがあります。発育菌は生化学性状試験あるいはコアグラーーゼ試験等によって黄色ブドウ球菌の同定を行って下さい。

(3) 検体の影響、検体の保存状態、あるいは環境によって菌が損傷を受けている場合、検体中に存在する菌の濃度、量によっては本品に発育困難な場合があります。検出感度を高めるには増菌培養操作を含む分離培地試験が必要です。

(4) 本品で黄色ブドウ球菌の性状を示す集落が認められない場合、検体中に黄色ブドウ球菌が存在しないことを保証するものではありません。

【使用上または取扱い上の注意】

1.取扱い上の注意

- (1) 本品はスタンプ法のため、培地上の集落数は拭き取り法の結果とは必ずしも一致しません。一般的にスタンプ法の成績は混釀法や拭き取り法の成績と一致しない場合があることが知られています。また、本品での成績はいわゆる公定法の成績としては使用できません。

(2) 本品は、黄色ブドウ球菌検出用スタンプ培地です。黄色ブドウ球菌の同定には生化学性状試験またはコアグラーゼ試験等による同定検査が必要です。

2. 使用上の注意

- (1) 本品は凍結厳禁のため、指定の貯蔵方法で保存して下さい。

(2) 開封後は速やかに使用し、保存する場合は袋に収め、密閉状態にして指定の貯蔵方法で保存して下さい。

(3) 本品は、亜テルル酸カリウムを含有しています。亜テルル酸カリウムの安全性については十分なデータが報告されておりませんので、本品を直接接触させた後の検査材料の表面は、水で十分に洗浄して下さい。また、本品を皮膚に直接接触させて検査した場合は水で十分に洗浄を行い、異常が認められた場合は必要に応じて医師の処置を受けて下さい。

(4) 本品を直接接触させて検査した食品検体では、検査後の食用を避けて下さい。

(5) 本品を接触させた後の検査材料の表面は、培地成分が付着していますので、アルコール綿等で拭き取って下さい。

(6) 衣服等の繊維系検査材料の表面は培地成分のしみがつく恐れがありますので、注意してご使用下さい。

(7) 本品に雑菌汚染、変色、形状変化等の品質低下が見られる場合には使用しないで下さい。

(8) シャーレの切り離し部分によっては、ケガをする恐れがありますので注意して下さい。

(9) 発育した菌による二次的汚染を起こさないために、判定後は検査用紙と検査用容器を一緒に（検査用紙の

定後は速やかに本品を廃棄して下さい(3.廃棄上の注意参照)。誤って喫煙後の菓子(リキッド)を吸扱は

意 參照)。

付着された可能性のある箇所は、70%アルコール、逆性石鹼又は適当な消毒剤で直ちに十分な消毒を行って下さい。

(10) 本品は、記載された操作法に従って使用して下さい。

3. 廃棄上の注意

使用済みの本品、使用済みの容器及び検査に使用したすべての器具類は次のいずれかの方法で処理後、廃棄物に 関する規定に従って廃棄して下さい。

『貿易方法：有效期限』

- (1)貯蔵方法 2~10°C (遮光・冷蔵)
 (2)有効期間 4ヶ月

【包装】

コードNo.	品名	包装
04250	DD チェッカー TGSE 寒天培地	20 枚入
04251	DD チェッカー TGSE 寒天培地	100 枚入

* 【問い合わせ先】

極東製薬工業株式会社 営業学術部
〒103-0024 東京都中央区日本橋小舟町7-8
電話 03(5645)5664
FAX 03(5645)5703

製造販売元 極東製薬工業株式会社
茨城県高萩市上毛郷町1333-26

本社住所 東京都中央区日本橋小舟町7-8